

www.jwing.com
mail@jwing.com



オーストラリア特集

オーストラリアの上質な旅





オーストラリア政府観光局は、2010年より展開している「私のイチオシキャンペーン」の第2フェーズを発表、30～59歳の大人の旅行者をターゲットに、「オーストラリアの上質な旅」を訴求する。新たなキャンペーンビジュアルを軸に、テレビや新聞、ソーシャルメディア、旅行会社店舗など、幅広いチャネルを使ってオーストラリアの魅力を提案していく。



キャンペーン第2フェーズの記者発表会の様子。左からマーティン・ファーガソン資源エネルギー観光大臣、オーストラリアPR大使を務める柴俊夫氏、エリカ・アンギル氏、オーストラリア政府観光局日本局長堀和典氏。それぞれキャンペーンの新ビジュアルを手に

大人の旅行者に「オーストラリアの上質な旅」を訴求 「私のイチオシ キャンペーン」第2フェーズへ

人気のキャンペーン・フィルムもリニューアル

キャンペーン展開に合わせ、キャンペーン・フィルムもリニューアルした。世界遺産など、オーストラリアの魅力を映像で織り交ぜながら、BGMには、YouTubeシンフォニー・オーケストラの募集で選ばれた一般のミュージシャンが奏でる美しいメロディーを採用。今年6月の公開以来、世界各国で既に2000万回以上再生されている。

日本では、90秒バージョンと30秒、3分バージョンを用意。テレビで流すほか、観光局の公式ウェブサイト(<http://www.australia.jp>)やYouTubeチャンネル(http://youtu.be/_YDI35I0jnE)、エアラインや旅行各社のウェブサイトなどでもチェックできる。

ミニTV番組「おーすととりっぶ」放映 ソーシャルメディアを使った連動企画も

10月からは、関東地方及び関西地方を中心にテレビ番組の放送をスタート。ミニ番組「おーすととりっぶ 君と、笑顔と。」は、TBSと毎日放送で12月までの3ヶ月間、毎週日曜日に放映、オーストラリア各地を舞台に、「夫が妻の笑顔を見せるためにプロデュースした特別な旅」を提案する。放送後にはキャンペーン・フィルムの30秒バージョンを流すほか、番組の特別映像やロケ地情報などを番組公式サイト(<http://www.tbs.co.jp/austrip/>)で紹介する。

またこの番組と連動したキャンペーンを展開。「あなたのイチオシ オーストラリア」写真投稿キャンペーンと題し、キャンペーンサイト(<http://www.australia.com/jp/worlds-best-australia-jp.aspx>)上で、オーストラリアならではのベストな体験の写真を募集する。写真は、ソーシャルメディア(Facebook、Twitter)と連動、スマートフォンからも投稿ができる。写真には「いいね!」やコメントを残すことができるほか、「お気に入り」リストに写真をまとめて友達とシェアすることも可能だ。

さらに投稿された写真の中から毎週1枚を選出、観光局の公式Facebook(<http://www.facebook.com/AustraliaJP>)で紹介し、写真への「いいね!」やコメントが1000件を超えると、カバー写真として掲載される。また投稿者の中から抽選で1組2名にゴールドコーストへの旅行をプレゼントする。公式Facebook上では、番組連動企画として、ロケ地にちなんだ特製ギフトセットを10名にプレゼントする視聴者プレゼントも行う。



「あなたのイチオシ オーストラリア」写真投稿キャンペーン キャンペーンサイト ©オーストラリア政府観光局

店舗レポート

店舗まるごとオーストラリア 販促で政観と店舗がタッグ

JTB首都圏 丸の内支店

オーストラリア政府観光局は、「私のイチオシ キャンペーン」第2フェーズのスタートに合わせ、旅行会社店舗とタッグを組み、ポスターやその他ツールを使った販促活動を展開している。今回はその中のひとつJTB首都圏の丸の内支店を訪ねてみた。



早川忍 支店長

高級感のある内装、JTB首都圏の戦略店舗 オフィス街ながら休日には観光客も



JTB首都圏丸の内支店は、ビルの建て替えが終わり、今年2月末に移転オープンしたまだ新しい店舗。同社にとって戦略的な位置づけで、従来の店舗とは異なり、ガラス張り的高级感のある内装が特徴だ。

客層はオフィス街だけに「ビジネス客が大半」(早川忍支店長)とのこと。出張手配中心の男性と比べ、女性はパッケージツアーを申し込むOLグループが多い。年齢層は20代も見られるが、「主力は30～50代」だ。

また移転オープンを機に、土日祝日の営業をスタート。早川氏は「客層ががらりと変わる」と語る。特に関東近郊から丸の内界隈へ訪れる観光客がふらりと店に立ち寄るケースが多く、最近では東京駅の復原工事が完了したことで、その数が増加。「20代のカップルや子供連れといったお客様も来店する」とのことだ。こうした層は「主に旅行の相談や情報収集で立ち寄る場合が多く、その後は電話対応で成約に至るケースもある」という。

店舗と一体化したプロモーション

観光局のビジュアルで「オーストラリアの上質な旅」を訴求

オーストラリア政府観光局とのタイアップによる店頭プロモーション。丸の内支店が選ばれた理由について、早川氏は「当店舗が戦略的な店舗であり、店と一体化したプロモーションができる点、またOL層が多い点なども背景にある」と語る。



店舗内には、「オーストラリアの上質な旅」を訴求する観光局のビジュアルやポスターを壁一面やパンフレットラック上の壁に展開。店舗入り口横のウィンドウにも大きなビジュアルを設けた。店舗中央の

モニタには観光局のプロモーションビデオを放映。まわりに液晶モニターやガイドブック、マンガで楽しくオーストラリアの魅力を伝える観光局のパンフレットなどを置いた。

スタッフのスキルアップにも 自信を持ってオーストラリアをアドバイス

店舗でのプロモーションの効果について、早川氏が指摘するのは、スタッフのスキルアップ。もちろん「オーストラリアのディスプレイを見て、パッケージの成約につながった」効果も見られたが、「観光局のビジュアルやパンフレットを通じて、スタッフのオーストラリアに対する認識が高まり、接客でも商品を勧めやすくなった」ことが大きな収穫となったようだ。



例えば「国内商品の予約で来店したお客様に対し、次回オーストラリアへの旅行を勧めたり、また旅行の相談で行き先に迷ったときに、オーストラリアを自信を持って勧めることができるようになった」という。実際に自信のある案内が顧客に伝わり、成約につながった。

早川氏は「今の時代、ただディスプレイを出すだけで予約に結びつけることは難しい。スタッフが充分なスキルで接客にあたることで初めて予約につながる」と語る。オーストラリアのディスプレイと、充分なスキルを持った接客が相乗効果となり、成約へと至るというスタンスだ。

丸の内支店では今後、店舗ウェブサイトでの露出なども図り、オーストラリアへの販促につなげたい考えだ。

気軽に行ける点をアピールする必要性

同支店のパッケージ販売におけるオーストラリアのシェアは、およそ1割程度。早川氏は「プロモーションを見て、行ってみたいというお客様の声を聞く。ただ興味は高いが、長期の休みを取る必要がある、というイメージが強い」と説明する。このため「例えばケアンズなど、4-5日で気軽に行ける点を伝えている」とのこと。

オーストラリアの中で、特に人気が高いのはエアーズロック。「行きたいという声が多い。これにシドニー、またはケアンズをプラスするコースを提案する。自然やビーチを求められるお客様にはケアンズ、都市の魅力を求めるならシドニーをお勧めしている」とのこと。休みが限られている場合は、上記のようにケアンズのコースを紹介するという。



Australia

QUEENSLAND
クイーンズランド州

ゴルファー天国で商品化 多彩な現地プログラムの活用を

クイーンズランド州の滞在を、より贅沢で思い出深い体験とするのに最適なゴルフ。ゴルファーズパラダイスとも言えるゴールドコーストや、日本からのアクセスも良いケアンズのゴルフコースは選択肢も豊富。しかもゴルフを中心とした手配体制が整っており、旅行会社がゴルフを商品化しやすいのも特徴だ。ゴルフ好きのホリデイトラベラーや、出張の合間にゴルフを楽しみたいビジネスマン。そんな旅行者の期待に、クイーンズランド州なら十分に答えられる。

ゴルフツアー企画の柔軟度が高い クイーンズランド



時差がわずか1時間、日本からの所要時間も7~8時間のクイーンズランド州でのゴルフは、体力的にも楽で、誰でも気軽にプレーを楽しめる。たとえば忙しい出張日程の中で、到着直後や帰国直前にゴルフを組み込んで体の負担が少なく済むのもビジネスマン・プレーヤーには嬉しいところ。

10月28日からはシドニー/ゴールドコースト間のカンタス航空(QF)のフライトが復活。日本からQFのビジネスクラスを利用してシドニー、ゴールドコーストと乗り継ぎ、贅沢なゴルフ休暇を楽しむこともできるようになった。

日本の旅行会社は、ゴルフ場への送迎を含

むゴルフパッケージを提供する現地業者と組めば比較的簡単にゴルフツアーを商品化できる。また多くのゴルフ場はアクセスも良く、空港からタクシーで40~50ドル程度の距離が主流。もちろんレンタカーを使って移動できるゴルファーにはFIT型パッケージを用意して対応できる。

宿泊施設の客室数もバリエーションも豊富なクイーンズランド州なら、贅沢なホテルに宿



泊する送迎付きのゴルフ・ホリデイを商品化できるし、気ままなゴルフ三昧を求める小グループには、コンドミニアム利用のゴルフツアーも提案できる。旅行会社にとってはゴルフツアー企画の腕の見せどころ満載のクイーンズランド州だ。

ゴールドコースト

現地受け入れ体制も万全なゴルファーズパラダイス

JPTツアーズ

JPT Tours

JPTツアーズは、日本人旅行者の各種現地手配を数多く手がける現地ランドオペレーターで、ゴールドコーストのゴルフパッケージも提供している。商品化しているのは、世界的に名高いチャンピオン・コースのパーム・メドウズや、ジャック・ニコラウス設計のレイクランズ、グレッグ・ノーマン設計の高難度が特徴の中~上級者向けグレイズなど、ゴルファーズパラダイスを代表する12の名門コース。

ゴルフパッケージは2名からの催行が可能で、日本からの旅行商品にも組み込みやすい。料金に含まれるのは18ホールのグリーンフィーのほか、電動カート代、ホテルからの送迎、日本語ガイド(チェックイン・アシスト)。別料金が必要なのはクラブやシューズのレンタル代。このゴルフパッケージを商品に組み込んでおけば、日本の旅行会社は安心して旅行者にゴールドコーストでのゴルフ体験を勧められる。

www.daytours.com.au/jp/golf_package



リゾート・コネクションズ・オーストラリア Resort Connections Australia

リゾート・コネクションズ・オーストラリアは旅行マーケティングの専門企業として1990年に創業。ゴールドコーストの観光業界を知り尽くし、幅広い人脈とネットワークを持つ同社が2000年から現地での旅行業にも進出し、ゴルフツアーを手がけている。

同社お勤めのゴルフパッケージは、ゴールドコーストの中でも指折りのゴルフコースとされるグレイズ、レイクランズ、ホープアイランドの3つを堪能できる内容で、ゴルフ好きには垂涎のパッケージ。ゴルフ事業者にも太いパイプを持つリゾート・コネクションズ・オーストラリアならではのパッケージといえる。

3つのゴルフコースでのプレーをパッケージするだけでなく、リクエストがあれば空港やホテルからゴルフ場までのコーチやリムジンによる送迎をアレンジすることも可能だ。

〈問い合わせ〉

Email: travconnectau@yahoo.com.au

ケアンズ

世界遺産&ゴルフでアクティブなゴルフホリデイ

ポートダグラスコネクションズ

Port Douglas Connections

ケアンズとその周辺でのゴルフツアーを商品化する際に便利なのはポートダグラスコネクションズが提供するゴルフツアー。商品化されているゴルフ場はパラダイスパームス・ゴルフコース、ミラージュ・カントリークラブ、シーテンプル・ゴルフクラブ、ケアンズ・ゴルフクラブ、ハーフムーンベイ・ゴルフクラブ。

ツアー料金には、グリーンフィーや、ホテル(ケアンズもしくはポートダグラス)とゴルフ場間の送迎、カート代(パラダイスパームス、ミラージュカントリーは電動カート、ケアンズとハーフムーンベイは手引きカート)も含まれる。このほか同社ツアー料金には、ゴルフ場の予約とそれに関するトラブルへの対処や、プレー中のトラブルへの対応(日本語ダイヤルでの対応)、日本人ガイドによる送迎中の案内やコンペの集計等の手伝いも含まれており、信頼度の高さも特徴だ。

www.portdouglas-c.com

ゴルフパスポート

Golf Passport

ゴルフイング・ケアンズ社の「ゴルフパスポート」は、ケアンズとその周辺にあるゴルフコースで4ラウンドのプレーを満喫できるパスポート。



このパスポートはゴルフコース運営者とゴルフイング・ケアンズ社による約1年間にわたる検討を経て実現した価値ある取り組みだ。ノース・クイーンズランド地域でのゴルフを、少しでも多くのゴルフ愛好家に、気軽に楽しんでもらおうという目的を共有するゴルフコースの協力で、割安なゴルフパスポートが実現した。



3つのチャンピオンシップコースと3つのパブリックコースの中から、それぞれ2ラウンドずつを選択し、計4ラウンドを楽しめる。

ゴルフパスポートはラウンドごとのバウチャー方式で、バウチャーを提示すれば記載されている予約内容に沿ってプレーを楽しめる。旅行会社が自社商品に組み込んで活用する場合も、旅行者にバウチャーを渡せばよく、とくに海外ゴルフに慣れた顧客向けに適している。

ゴルフパスポートで利用できるゴルフコースは次の通り。

【チャンピオンシップコース】

- ・シーテンプル・ゴルフクラブ(旧ザ・リンクス)
- ・ミラージュ・カントリークラブ
- ・パラダイスパームス・ゴルフコース

【パブリックコース】

- ・ハーフムーンベイ・ゴルフクラブ
- ・マリーバ・ゴルフクラブ
- ・ケアンズ・ゴルフクラブ

www.golfingcairns.com.au/passport.htm



ウィットサンデー諸島

グレートバリアリーフの真ん中で贅沢なアイランド・ゴルフを堪能

ハミルトン・アイランド・ゴルフ・クラブ

Hamilton Island Golf Club

オーストラリア全土を探しても、ここでしか体験できないのがハミルトン・アイランド・ゴルフ・クラブでのプレー。1つの島に1つのゴルフコースがある唯一のアイランド・コースだからだ。ロケーションはハミルトン本島のすぐ隣、目と鼻の先のデント



島で、本島のマリーナからボートで渡れる。ゴルフをするには当然、島に渡る必要はないため、プレーヤーにはグリーンフィー、2シーターゴルフカート代のほか往復のボート代も含まれる。

コースは全英オープン5回制したピーター



ムソンの設計で、上級者が楽しめる手ごたえのあるホールを含む18ホール・パー71・全長6140メートルのチャンピオンシップコース。もちろんビギナーでも楽しむことができ、希望すればレジデント・プロによる体験レッスンも受けられる。

クラブハウスにはレストラン、バー、プロショップを完備。海と島々を眺めながらのプレーが格別なだけでなく、絶景の中での食事や寛ぎの時間は贅沢そのもの。忘れられないゴルフの思い出を作ることができる。

www.hamiltonisland.com.au/jp/golf



日々目まぐるしく変化する大都市シドニーは、オーストラリアを代表するシティリゾートだ。新しいホテルのオープンやリノベーション情報は常に発信されており、これらを逃すとそのままビジネスチャンスを逃すことになるだろう。ここでは、シドニーの最新ホテル事情および郊外のラグジュアリーリゾートを紹介。これらのホテルやリゾートをチョイスするだけで、とっておきの旅を演出することができる。



シドニー最新ラグジュアリーホテル センスが光る極上空間に泊まる

1年をかけてリニューアルした「パーク・ハイアット・シドニー」

Stay City

パーク・ハイアット・シドニー Park Hyatt Sydney

リニューアルで
より上質なシティリゾートに

ザ・ロックスのウォーターフロントに位置する「パーク・ハイアット・シドニー」は、開業から22年のランドマーク的高級ホテル。昨年の大改装によるアップグレードで、シドニーを代表するシティリゾートの1つとして不動の地位を築いている。

同ホテルはシドニー・ブリッジの麓に位置し、目の前にオペラ・ハウスを望むロケーションが自慢。新たに設けた4階には1室350㎡のルーフトップ・スイートを3室新設し、シドニー・ハーバーを360度見渡せるビューが魅力となっている。また、レセプション・フロアにはくつろぎの時間を演出する「ザ・リビング・ルーム」を設け、新しいシグネチャー・レストランは「ザ・ダイニング・ルーム」となってお目見え。オーストラリア人シェフが腕を振るう地元食材を活かしたメニューを、目の前にオペラ・ハウスを望みながら楽しむことができる。

また、この地がシドニー発祥の歴史地区であることを踏まえ、地元産のサンドストーンや木材、ローカルアーティストの作品を随所に使用



オペラ・ハウスを望む「ザ・ダイニング・ルーム」

し、建物のスタイリッシュな造りに融合させた。またオーナーが日本の会社ということもあり、全室にウォシュレットを完備したり、南部鉄瓶をあしらうなど、“和”の雰囲気が見え隠れするものユニークだ。

<http://hyatt.com/hyatt/wwg/hotels/sydp/index.jsp?language=ja>

ザ・ダーリング The Darling 複合施設「ザ・スター」に 5つ星ホテル誕生

巨大カジノがあることで知られるシドニーの複合コンプレックス「スター・シティ」が昨年末、8.7億ドルを投じて「ザ・スター」として生まれ変わった。新たにラグジュアリーなブティックホテル「ザ・ダーリング」がオープンしたほか、20以上の洗練されたレストランやバー、ナイトクラブ、16室の高級スパ、ワールドクラスのカジノ、そして4000名を

収容するシアターなどを有している。

ザ・スターにお目見えした最新ホテル「ザ・ダーリング」は、2000年以降シドニーに初めてオープンした5つ星ホテル。5つのペントハウスを含む全171室は、スタイリッシュでモダンな造り。室内からはダーリング・ハーバーのウォーターフロントビューが存分に楽しめる。ザ・スター内に位置しているため、ここだけで食のスポットやエンターテインメント、カジノなどを楽しめるのが魅力の1つ。レストランやカフェ、バーのバリエーションも豊富で、目移りするほどだ。シドニー市内中心部、ダーリング・ハーバー、チャイナタウンも徒歩圏内で、使い勝手がいいと好評を得ている。

<http://www.star.com.au/>



洗練された客室から望むハーバービュー

QTシドニー QT Sydney 歴史あるビルが最新デザイナーズホテルに

シドニー市内中心部、ジョージ・ストリートとマーケット・ストリートの角地に、今年新しいブティ



モダンなヨーロッパスタイルの客室

ックホテル「QTシドニー」が誕生した。1900年代前半に建てられたステイト・シアターとゴーイングというスポーツ用品店のビルを改装したもので、どちらも街のランドマーク的建造物として親しまれていた。

生まれ変わった新ホテルは、デザイナーズホテルと呼ぶにふさわしい造り。12タイプ200の客室、レストラン、カフェ、ラウンジ、スパなど、すべての施設においてクラシカルかつ斬新なデザインが施されている。古き良きヨーロッパのレトロな雰囲気とモダンなセンスがビビッドな色使いで表現されており、まるで映画のセットにタイムスリップしたかのような。ヨーロッパスタイルのブラッセリーやカフェ、フルサービスの「スパQ」だけでも女性に受けそう。スパは6つのトリートメントルームや男性用バーバー、スチームサウナの後に冷たいシャワーを浴びるスタイルのハمامも備えている。

<http://www.qtsydney.com.au/>

Stay Suburb

ウォルガン・バレー・リゾート&スパ Wolgan Valley Resort & Spa

世界遺産の森で過ごす
ラグジュアリーなひととき

今やラグジュアリーなエコリゾートの代名詞ともなった「ウォルガン・バレー・リゾート&スパ」。シドニーの北西約190km、世界遺産グレート・ブルー・マウンテンズに隣接する同リゾートは、最高級のラグジュアリーホテルを運営するエミレーツ・グループがドバイ以外の国に初めて造ったリゾートだ。4000エーカーにおよぶ敷地はほぼ自然のままに保たれ、周囲の自然と調和するように40棟のスイート、メインダイニングルームやスパのある本館が点在している。



大自然の中で最新設備を備えた快適な客室

客室棟は、ヘリテージ(83㎡)、ウォレマイ(131㎡)、ウォルガン(254㎡)の3タイプ。いずれもリビングルームとベッドルームに豪華なバスルーム、ウォークインクローゼット、ベランダとサンデッキ、プライベートプールを備えている。

ラグジュアリーな宿泊体験だけでなく、大自然を舞台にしたさまざまなアクティビティにもトライしたい。宿泊客には乗馬や天体観測をはじめ、ガイド付4WDドライブ、野生動物サファリ

ツアー、自然散策ツアー、ガイド付アボリジニ文化ツアーなどを用意。宿泊料金には1日につき3度の食事やアルコールを含むドリンク類に加え、1人1泊につき2つまでのアクティビティが含まれている。

<http://www.wolganvalley.com/wolgan-valley/en/index.asp>

シャトー・エラン・ハンター・バレー Chateau Elan Hunter Valley

ワイナリーに佇む
ラグジュアリーなリゾート

シドニーから車で約2時間のハンター・バレーは、オーストラリアを代表するワイン産地の1つ。このエリアでラグジュアリーなリゾートといえば、ロスバリーに位置する「シャトー・エラン」だろう。グレッグ・ノーマン設計のゴルフコースを併設する同ホテルは、なだらかな丘の上に建つ低層階のホテル。客室は20室のスパ・スイートと80室のスパ・ヴィラの全100室で、バルコニー付きの全室からマウンテンビューもしくはガーデンビューの清々しい景色を眺めることができる。

インテリアは部屋ごとに異なるが、いずれも上質な家具やファブリック、リネンなどでエレガントな雰囲気にまとめられている。館内には2つのレストラン、バー、ラウンジ、フルサービスのスパ、屋外プール、フィットネスセンターを完備。バンケットルームやミーティングルーム、イベントスペースも充実しており、インセンティブやビジネス、ウェディングといったグループ需要にも適している。

<http://www.chateauelan.com.au/>



シックでエレガントな客室

Event

シドニーでは1年を通してさまざまなイベントが行われている。季節ごとのイベントに合わせて訪れると、違った印象を受けることもあるだろう。ここでは、2013年の注目イベントを2つピックアップ。どちらも旅の目的となりうるインパクトの大きいイベントだ。

オペラ・オン・シドニー・ハーバー Opera on Sydney Harbour 屋外オペラ公演、 2013年は「カルメン」

オーストラリアの国立オペラ・カンパニー「オペラ・オーストラリア」による屋外公演「オペラ・オン・シドニー・ハーバー」が、2013年は3月22日～4月12日に行われる。今回で2年目となる同イベントの会場は、シドニー王立植物園に隣接するシドニー湾上に設置する3000人収容の特設ステージ。客席からは、ステージの背景にオペラ・ハウスやハーバー・ブリッジを望むことができる趣向になっている。

今年の演目は、オペラの名作「カルメ

ン」。壮大な舞台装置や華やかな衣装、きらめく照明などにより、壮大なストーリーが紡がれる。座席はプレミアム、A、B、Cの4段階に分かれており、チケットはすでに販売を開始している。

期間：2013年3月22日～4月12日
場所：シドニー王立植物園
<http://www.operaonsydneyharbour.com.au/>



ビビッド・シドニー Vivid Sydney 光と音で沸き立つ冬のシドニー

ビビッド・シドニーは、5年前から始まった南半球最大の光と音楽の祭典。シドニー市内がイルミネーションやアートで飾られ、芸術のワークショップやイベントが3週間に渡って繰り広げられる。前回の見どころは、午後6時になるとライトアップされるいくつものライト・スカルプチャー(光の彫刻)やオペラ・ハウス、カスタムズ・ハウス、現代美術館などの壁面に映し出されるライトショー。これは「プロジェクション・マッピング」と呼ばれる投影技術で、映像や音を投影物と合成することで3D映像を演出できる新しいエンターテインメント。同イベントのハ

イライトでもあり、冬のシドニー需要を動かすほどの人気となっている。

2013年の詳細は未定だが、期間中は周辺のレストランやカフェが特別メニューを提供するほか、週末にはザ・ロックスでビビッド・ナイト・マーケットが開かれる予定だ。
期間：2013年5月24日～6月10日
場所：シドニーオペラハウス／サーキュラー・キー／ザ・ロックス
<http://www.vividsydney.com/>



© David Clare, Destination NSW
オペラ・ハウスに映し出されるマッピングの映像



Australia

NORTHERN TERRITORY
ノーザンテリトリー

赤土の砂漠が広がるレッドセンター、豊かな緑に覆われたトップエンド、対照的な自然はどちらもノーザンテリトリーの宝物。アボリジニの物語に耳を傾け、悠久の大地からパワーをもらい、他では体験できない上質な旅にココロもカラダも元気になる。それがノーザンテリトリースタイル。

ココロもカラダも元気になる 赤い大地と緑の森

レッドセンター

RED CENTRE

オーストラリア内陸部に広がる、アウトバックを象徴する褐色の大地。大地を包む漆黒の夜空には、満天の星空が砂漠気候の澄み切った空気に映え、自然のプラネタリウムのように…。太古の昔から変わらぬ美しさを秘めている。

ウルル・カタジュタ国立公園

上質な旅が叶う世界屈指の観光素材



世界最大級の一枚岩ウルル、36個の奇岩が連なるカタジュタ、アボリジニの神話に包まれた世界複合遺産「ウルル・カタジュタ国立公園」には上質な旅が叶う素材にあふれている。ウルルでは、専属ガイドの案内で麓を散策するベースウォーク。カタジュタでは、太古の息吹を全身で感じる「風の谷」の散策。独自の自然と文化に触れ、力強い大地から元気もらう。かけがえのない体験こそがウルル・カタジュタの最大の魅力だ。

ボヤージュのエアーズロック・リゾートが提供している無料アクティビティも人気を集めている。リゾート内の庭を現地ガイドと巡る「ガーデンウォーク」、アボリジニの人々の生活の知恵やストーリーなどを教えてくれる「ブッシュヤーン/アボリジナル物語」、キッズ向けのアボリジニアート体験「キッズ・アート・クラス」など、子供から大人まで楽しみながら学べるプログラムが用意されている。

また、アウトバックのなかでピュッフェディナーを楽しむ「サウンド・オブ・サイレンス」のワンランク上のサービスとして「タリ・ウィル・ツアー」も登場した。ウルルとカタジュタを望む「秘密の砂丘」でのプレミアム・ワイン付き4コースディナー。カップルシートも用意されているので、ハネムナーにも最適なプロダクトだ。現在は月・水・金・土・日のみだが、来年4月からは毎日開催される。

さらに、リゾート内の5つ星高級ホテル「セールズ・イン・ザ・デザート」のリノベーションが完了。さらに上質な旅を求める旅行者からますます注目が集まりそうだ。

キングスカニオン

大地と水のパワーを浴びてトレッキング

ウルル・カタジュタ国立公園とアリススプリングスのほぼ中間にあるワタルカ国立公園。そのなかで圧倒的な存在感を示すのが断崖絶壁連なるキングスカニオンだ。褐色の切り立った岩山の谷底には雨水が蓄えられたオアシスが広がる。岩肌がドームになった神秘的な「ロストシティ」、木立に囲まれ枯れることのない泉がある「エデンの園」など大地と水のパワーを全身で感じられるスポットが点在。体力と時間に合わせて、さまざまなトレッキングが楽しめるのが大きな魅力だ。



アリススプリングス

街歩きも楽しいアボリジニアートの中心地



先住民たちが太古から受け継いできた創世神話「ドリーミング」を描いたアボリジニアート。最近では世界中でコンテンポラリーアートとしても評価を高めている。その中心となるのがレッドセンター最大の街アリススプリングスだ。メインストリートにはギャラリーが数多く集まり、街歩きをしながら色彩豊かなアートを楽しむことができる。毎年8月から10月にかけて開催される「アリス・デザート・フェスティバル」も人気が高い。

トップエンド

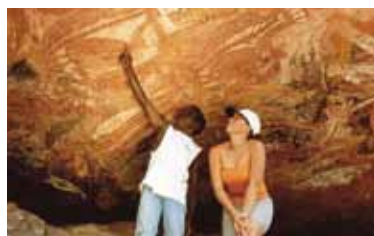
TOP END

ノーザンテリトリー北部のトップエンドは、乾季と雨季に分かれた熱帯気候で、過ごしやすい乾季は観光のベストシーズン。雨季には、豊かな雨で深い緑が育み野生動物の楽園に…。シーズンごとに異なる表情が魅力のデスティネーション。

カカドゥ国立公園

ユニークな自然と文化が共存する原始の絶景

オーストラリア最大の国立公園であるカカドゥは、手つかずの大自然に育まれた貴重な生態系と古代アボリジニが描いたロックアート(壁画)が共存する世界複合遺産。カカドゥ観光の拠点となるジャビルから足を伸ばすと、トップエンドらしい驚きと感動が待っている。



イエローウォータークルーズに参加すれば、さまざまな野鳥や悠々と泳ぐクロコダイルなど野生の動植物をゆっくりと観察することができる。また、落差150メートルを超えるジムジム滝とツイン滝もカカドゥを代表する大自然。乾季には滝つぼでのスイミング、車の通行が禁止される雨季にはヘリコプターや小型飛行機の遊覧飛行がおすすめだ。

アボリジニの文化に触れるならノーランジーロックとウビル。2万年以上も前に描かれた学術的にも貴重なロックアートを間近に鑑賞することができる。夕暮れになったらウビルロックの頂上へ。原始の森に静かに沈んでいく夕陽は心洗われる美しさだ。

現地ツアー会社のAATキングスでは、カカドゥへの日本語ツアーを催行している。ダーウィンを早朝出発し、イエローウォータークルーズの遊覧やノーランジーロックを巡る日帰りツアー。ワラジャン・アボリジニ文化センターにも立ち寄るほか、オプションで遊覧飛行(別料金)に参加することもできるなど内容の濃いプログラムを提供している。

リッチフィールド国立公園

気軽にトップエンドの自然を満喫



ダーウィンから車で2時間ほど、日帰りツアーで気軽に訪れることができる人気の観光地。「フロレンスの滝」「トルマーの滝」「ワンギの滝」など豊かな水に恵まれた自然が広がる。滝つぼでのスイミングやブッシュウォーキングなどのアクティビティが楽しめるほか、巨大アリ塚など驚きの自然に触れることもできる。

AATキングスでは、ダーウィンからリッチフィールドへの日帰りツアーも催行。主要な滝に加えて巨大アリ塚にも立ち寄る。1日でリッチフィールドをまるごと体験することが可能だ。

ダーウィン

滞在も楽しい活気のある港町



ノーザンテリトリーの州都として目覚ましい発展を続けているダーウィン。トップエンド観光の拠点となるだけでなく、街自体にも観光素材が充実している。新しく開発されたウォーターフロントには、大型客船が停泊できるドックエリアのほか、コンベンションセンター、ショッピングモール、レストランなどが集まり観光スポットとして賑わいを見せている。このほか、乾季に開かれる「ミンディルビーチ・サンセットマーケット」や港町ダーウィンらしいハイパークルーズなどもおすすめだ。

ザ・ガン

贅沢に大陸縦断鉄道の旅

オーストラリアを南北へ走る大陸縦断鉄道「ザ・ガン」。ダーウィンからキャサリン、アリススプリングスを経て南オーストラリアのアデレードまでを2泊3日で結ぶ。ノーザンテリトリーでは、キャサリンとアリススプリングスで途中下車が可能だ。



クラスは、一流ホテル並みの部屋とサービスが整う「プラチナ」、贅沢な寝台個室の「ゴールド」、リクライニング付き座席が快適な「レッド」の3種類。車窓からはトップエンドとレッドセンターそれぞれの特徴的な景色が望め、夜になると満天の星空が広がる。一生に一度は体験してみたい鉄道の旅だ。

ノーザンテリトリー政府観光局 <http://ja.travelnt.com/>

おすすめの「上質な旅プロダクト」
スカイシティ・ダーウィン



サンセットの美しいダーウィンのビーチに面した5つ星ホテル。カジノも併設。今年8月新設のラグーンプールは、テニスコート8.5面分で、ホワイトサンドのビーチもあります。このラグーンを取り囲む新装の客室のうち、1階の部屋はバルコニーから直接ラグーンに入れます。新しいレストラン / カフェやスパも充実しています。
<http://www.skycitydarwin.com.au/>

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
リッチフィールド国立公園



ダーウィンから車で約90分。野鳥など、野生動物の宝庫です。またフローレンス滝、トルマー滝、ワグアイ滝やブルーロックホールなどの小滝。北から南へと整列する興味深いアリア塚が途中にあります。アボリジニ文化に触れることもでき、宿泊施設も完備。道は整備されていますが、ジャイネラ滝やロストシティへは、4WDが必要です。

観光局に聞く!

おすすめ「上質な旅プロダクト」と
日帰りドライブ「おすすめスポット」

多彩な魅力がいっぱいのオーストラリア。

ここでは、オーストラリアの各州 / 地域の観光局が旅行会社の企画

及び販売担当者に推薦する、おすすめの「上質な旅プロダクト」と、

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」をまとめてみました。

ぜひ、今後のツアープランニングや販売に役立ててみてはいかがでしょうか?

西オーストラリア州政府観光局 www.westernaustralia.com

おすすめの「上質な旅プロダクト」
ケープ・ロッジ



世界に名だたるワインの産地として有名なマーガレット・リバーの中心に位置。エレガンスを極めたグルメ&リラクゼーションが集約した贅沢な隠れ家です。「オーストラリア屈指の最新世代ダイニング」と評されたレストランで、ビネテージワインに酔いしれながら美食に舌鼓を打つのもよし、ここではオーストラリアの真の魅力が体験できます。
<http://www.capelodge.com.au/>

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
スワン・バレー



パースより北西、同州で最も古いワイン産地として知られるスワン・バレーへ。のどかな田園地帯が広がる「スワン・バレー・フード・アンド・ワイン・トレイル」沿いには、約150軒のワイナリー、レストラン、カフェが並びます。野生動物と触れ合えるカバシャム・ワイルドドライブ・パーク、国際的なゴルフリゾート、ザ・バインズ・リゾート&カンパニー・クラブなどに立ち寄るのもおすすめです。

南オーストラリア州政府観光局 www.southaustralia.com

おすすめの「上質な旅プロダクト」
カンガルー島



カンガルー島はオーストラリアの野生動物の宝庫です。その、カンガルー島への上質の旅に欠かせないのは、Southern Ocean Lodgeでの滞在。21畳の部屋全てがオーシャンビューで、滞在中の食事、ツアーが全て含まれています。滞在中の観光はもちろん、素晴らしい景色を目の前に、スパを体験して頂く事もできます。
<http://www.southernoceanlodge.com.au>

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
アデレードヒルズ、パロッサバレー



アデレードでのセルフドライブには、やはり、多くのワイナリーがあるアデレードヒルズ、パロッサバレーがおすすめ。日本では出来ないブドウ畑に囲まれた爽快なドライブ、世界でも有名なワイナリー、また家族経営のこぢんまりとしたワイナリーなどでの試飲、ランチ、さらには周りに広がる見渡す限りのブドウ畑は一見の価値があります。

ビクトリア州政府観光局 <http://japanese.visitmelbourne.com/>

おすすめの「上質な旅プロダクト」
シャトー・イエリング・ヒストリック・ハウス・ホテル



メルボルン近郊のワインカントリーとして有名なヤラ・バレーにあるビクトリアンスタイルの洒落な館を使ったマナーハウス風ホテル。美しい外観とクラシック調のインテリア、猫のぬいぐるみを「Don't Disturb」の印に使うなど、心憎い演出も。32室すべてがスイートで、併設のレストランも数多くの賞に輝いています。
www.chateauyering.com.au

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
モーニントン半島



メルボルンから東へ車で1時間半。澄んだ海やワイナリー、豊かな自然が広がるおすすめのエリア。イルカとの遊泳やビーチでの乗馬、ゴルフなど、豊富なアクティビティに加え、9ニシユラ・ホットスプリングスではラグジュアリーなスパ体験も。最新ワイナリーも数多く、日本では知る人ぞ知る上質のワインを味わうことができます。

タスマニア州政府観光局 <http://www.discovertasmania.jp/>

おすすめの「上質な旅プロダクト」
サファイア・プレシネ



州東側にあるプレシネ国立公園は、海岸線が美しいワイングラスベイで人気のリゾートエリア。オーストラリアを代表する豪華リゾートで、全室平屋のスイートタイプ。バルコニーからはプレシネ国立公園を一望できます。プレシネ国立公園のウォーキングツアーがあるほか、デイスパも完備。ゆったりとタスマニアの大自然を楽しむことができます。
<http://saffire-freycinet.com.au/>

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
ポート・アーサー



ホバートから南東へ1時間半ほどのところにあるポート・アーサーは、世界遺産にも指定されているオーストラリアの歴史が色濃くみられる町。オーストラリアでも二番目に古い町であるホバートから、リッチモンドを経由して、ポート・アーサーまでのドライブは、オーストラリア開拓の歴史を知るには絶好のルートと言えるでしょう。

トロピカルノースクイーンズランド観光局 www.cairnsgreatbarrierreef.jp

おすすめの「上質な旅プロダクト」
グレートバリアリーフマスタースゲーム



ケアンズで2013年8月9～11日に行われるマスター世代のためのスポーツイベント。トロピカルなムードの中、スポーツ競技だけでなく、さまざまな楽しいイベントが盛り込まれます。オーストラリア国内はもとより、オセアニア地域、アジア地域を中心に、約2500名の参加者を予定しています。
www.gbmg.com.au

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
アサートン高原



ケアンズから車でキュランダレンジを上り、ケネディーハイウェイをドライブ。マリバーでは高級オーストラリアンコーヒーを楽しむ、アサートンでは珍しいカーテンフィグツリーを観察。ミラミラフォールズでは、豊かな大自然の美しさに出会うことができます。

クイーンズランド州政府観光局 queensland.jp

おすすめの「上質な旅プロダクト」
ウィットサンデー地域



米旅行雑誌の読者投票で最高の評価を獲得したクイーンズランドをはじめ、ゴルフやハートリーフ遊覧飛行など、ラグジュアリーな滞在に最適なハミルトン・アイランド。グレートバリアリーフのほぼ中央に位置し、周辺にはハーディー・リーフやホワイト・ヘブン・ビーチがあり、ハネムーンのみならず、女子旅やゴルフ旅、報奨旅行にもおすすめです。
<http://www.hamiltonisland.com.au/jp/>

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
サンシャインコースト



ブリスベンの北100キロほどにあるサンシャインコースト地域は、オーストラリア国内で人気の観光地。海岸沿いにはヌーサやクーラムなどの高級リゾートの街。内陸部にはおしゃれなB&Bや工芸品店、レストランが点在するモントヴィルがあり、1か所または2、3か所に滞在しながら快適なドライブを楽しむことができます。

ゴールドコースト観光局 <http://www.visitgoldcoast.jp/>

おすすめの「上質な旅プロダクト」
ゴールドコーストの空中散歩



ゴールドコーストとっておきの体験は、サーファーズ・パラダイスをヘリで空中散歩。空から見る真つ青な海と地平線、どこまでも続く黄金の海岸線、高層ビルと入り組んだ運河、世界中探してもゴールドコーストにしかない風景。
www.goldcoasthelitours.com.au

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
マウント・タンボリン



サーファーズ・パラダイスから車でわずか30分。緑豊かな国立公園にあるマウンテン・ビレッジには、ハイキングコース、ワイナリー、ビール工場、リキュール工場、チーズ工場やギャラリー、アンティークショップ、カフェなどがあり、一日楽しく過ごせます。

ニュー・サウス・ウェールズ州政府観光局 sydney.com

おすすめの「上質な旅プロダクト」
イースト・セイル

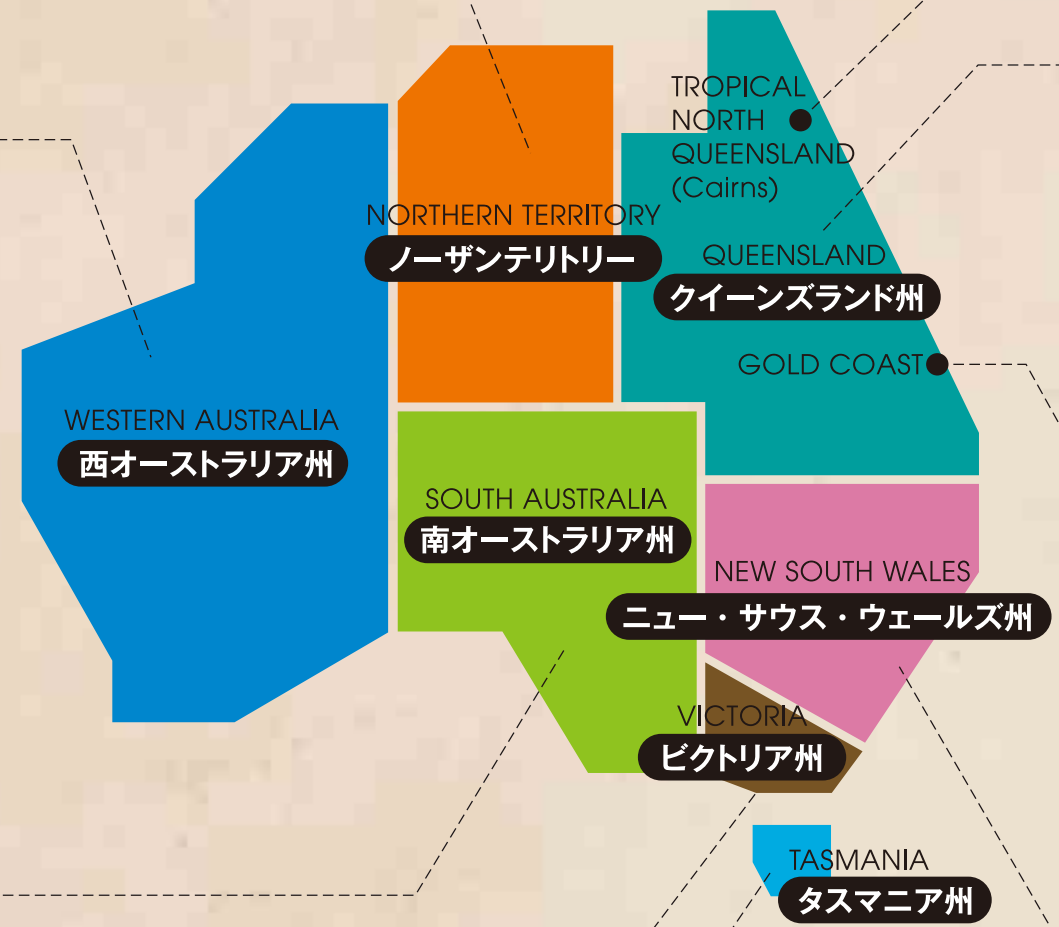


入り組んだリアス式海岸に面したシドニーは外洋と比べ、波が穏やか。そんな海を楽しむにはセーリングが最適。ヨットを操縦できなくても、チャーターすればOK!少人数で貸し切り、船上パーティーも可能です。日差しを浴びながら爽快に、または夕方ならカクテルと共にロマンチックなひとときを、シドニーならではの特別な楽しみ方です。
www.eastsail.com.au

日帰りドライブに最適な「おすすめスポット」
グランド・パシフィック・ドライブ



シドニーから南へ、世界で2番目に古い国立公園、ロイヤル・ナショナルパークを通り、ナウラまでの美しい海沿いのコース。かわいらしい村々を訪ねながら、ケイラ山の展望台で素晴らしい眺めを堪能。ミンナムラレインフォレストでのバードウォッチングもおすすめ。クライマックスは、海拔665mのシー・クリフ・ブリッジからの絶景です。





Australia

Rent A Car
レンタカー

オーストラリアはレンタカーで!

旅行者だけでなく、旅行会社にもメリットをもたらすレンタカー販売

ドライブだから発見できる魅力がたくさん とおきの場所へ、自分のペースで周遊

レンタカーを使ったドライブ旅行の最大のメリットはその自由度にある。自分のペースで自由に旅行を楽しむことができ、子供がいても誰にも迷惑かけることなく移動が可能で安心だ。

また通常のパッケージツアーでは行くことがないエリアへもアクセスが可能。世界遺産に指定された大自然や歴史ある町、ワイナリー、豪華なロッジなど、とおきの場所、ラグジュアリーな体験へレンタカーがあれば、気軽に行くことができる。

AB-ROAD 海外旅行調査(2012年)によると、オセアニアの旅行の目的は、1位が「自然を満喫する」、2位が「のんびり休息をする」、3位が「おいしいものを食べる」、4位が「名所・旧



サンシャインコースト(クイーンズランド州)

跡を観光する」が続く。こうした旅の目的を果たす上でも、レンタカーは重要な移動手段となる。

また同調査で、現地での行動について見ると、18位に「車のレンタル」がランクイン。オーストラリア旅行者全体の7.9%が「日本で申込」、6.0%が「現地で申込」と答えており、この「現地で申込」の部分を取り込むチャンスがあると言える。

収益を確保できる レンタカー販売

旅行会社を取り巻く環境は、年々厳しさを増している。そんな中、収益を確保する上でも、高収益が見込める商品造成や販売に力を入れる傾向が強まっている。

具体的には、ラグジュアリーマーケット、また需要のブレが少ないウェディングマーケット、さらにコミッションが期待できるレンタカー販売など、どれもオーストラリアの強みが十分に打ち出せる旅行素材だ。

特にレンタカー販売は、コミッション率の高さで大きなメリットがある。レンタカーの予約は、直接レンタカー会社を通して行われるケースが最



サンシャインコースト(クイーンズランド州)

も高く、現地の営業所で直接契約をするケースもある。

旅行会社がこの需要を日本出発前に取り込めれば、日本払いでも現地払いでもコミッションは発生する。収益確保の面で、レンタカー販売は大きく貢献できるだろう。

オーストラリアは 日本と同じ左側通行!

日本と同じ左側通行のオーストラリアは、海外レンタカーデビューにふさわしいデスティネーション。交通網が発達しており、交通法規や道路標識などの整備が行き届いているので、海外レンタカー初心者でも走りやすい。

一方、オーストラリアには、日本にはないシ

テムがあるのも事実。そのひとつが、ラウンドアバウト(Roundabout)。日本で言うロータリーで、時計回りの一方通行。右側から来る車(すでにロータリーに入っている車)に優先権があることを注意しておきたい。

また夜間のドライブにも注意が必要。オーストラリアでは、夜行性の動物が飛び出してくる場合が多く、特にカンガルーは、車のライトに向かって飛び出してくることがある。動物のサインがある場合は、特に注意して運転することが求められる。

海外でレンタカーを利用した旅行者のリピーター率は高い。それだけ旅行中の満足度も高いと言える。旅行会社、旅行者の双方にメリットのあるレンタカーの販売を促進し、より満足度の高い旅行商品の開発につなげたい。



Australia

BUDGET RENT A CAR
バジェット・レンタカー

オーストラリアならバジェット!

質の高いサービスで安心快適なレンタカーの旅

【旅行業界勤務者限定】

ADを利用してレンタカー体験

25%もおトクに

有効期限 2013年3月31日レンタル開始まで



こみこみプラン(オーストラリア) 【円建て】
21才からご利用いただけます。

ご料金 ●1日(1日~6日) ¥9,900~ ●1日(7日以上) ¥9,300~

現地での手続きが簡単で、ご利用が初めての方にもお薦め。
全ての保険・税金が含まれた、お得でお手軽な円建てパッケージ!



世界中でビジネスを展開しているバジェット・レンタカー。オーストラリアでも幅広いネットワークと利用者のニーズに応えるサービスを提供している。最新カーナビ「Where2」も引き続き好評。円建てフルカバーの「こみこみプラン」など日本人旅行者が利用しやすい環境を整えている。

万全の受け入れ態勢、 こみこみプランも大好評

質の高いサービスと安心のサポートでオーストラリアでも高い信頼性を誇っているバジェット・レンタカー。万全の現地受け入れ態勢で日本人旅行者のレンタカーの旅をバックアップしている。

商品ラインアップも充実。なかでもフルカバーの「こみこみプラン」が人気だ。各種任意保険、各種税金が含まれる。現地での手続きがスムーズで、言葉の心配もない。また、旅行会社にとっても安心して販売できると好評だ。

ドライバーの強い味方 Where2

最新カーナビの「Where2」も質の高いサービスのひとつ。ポータブルタイプで持ち運びやすく、操作もタッチパネル式で使いやすい。リアルタイムの渋滞、道路工事、天気情報が得られるほか迂回路や代替ルートの案内も表示してくれる。

オーストラリアでは、ケアンズ空港と市内、ブリスベン空港と市内、ゴールドコースト空港、シドニー空港と市内、メルボルン空港と市内、キャンベラ空港と市内でレンタル可能だ。

☎ 0120-150-801

営業時間: 年中無休 / 9:00~18:30

■ バジェットレンタカー日本総代理店

株式会社 イデックスオート・ジャパン

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-14 KAMONビル5階

http://www.budgetrentacar.jp





Australia

HERTZ
ハーツレンタカー

ユーザーにも旅行会社にもうれしい ハーツのサービスとサポート

広いオーストラリアで思いっきりドライブの旅を楽しみたい。ハーツレンタカーはそんな旅行者を強力にサポートしている。ラグジュアリーからエコノミーまで幅広い車種を揃え、便利でリーズナブルなクーポンも用意。GPSカーナビ「ネバーロスト」や日本語通訳など安心快適にドライブを楽しめるサービスも好評だ。ユーザーだけでなく旅行会社向けのサポートも充実。販売しやすい環境を整えることで、旅行会社とともにオーストラリアでのレンタカーの旅を広めている。



の有料道路 (CityLinkとEastLink) の通行が可能。有料道路を通行すると、自動的に精算手続きが行われ、通行料金のほかセットアップ料と手数料を加えた金額が後日Roam Express社から登録クレジットカードに請求されるという仕組みだ。もちろん有料道路を通行しなければ、請求は発生しない。パスの登録はシドニー、メルボルン、ブリスベン、ゴールドコーストの各営業所でも可能だ。

ADを利用して、 海外レンタカー体験を

ハーツでは旅行業界関係者向けにお得なエージェント・ディスカウント料金(AD)を用意している。対象エリアは世界150カ国、8500ヶ所の営業所。車のクラスと優待料金は利用営業所によって異なる(最大で20%の割引)。ハーツでは業界関係者にレンタカーの旅を一度体験して欲しいと、このADの利用を勧めている。

問い合わせ **ハーツレンタカー予約センターまで**
0120-489-882
9:00~18:00(土・日・祝・年末年始を除く)

車の楽しさ広がる 豊富なラインアップ

ハーツは世界最大のレンタカー会社。オーストラリアでもそのネットワークは幅広く、主要都市の空港はもちろんのこと各都市のダウンタウンにも多くの営業所を構える。その数はオーストラリア国内だけで実に185ヶ所。ハーツなら旅の予定やルートに合わせて賢くレンタルすることが可能だ。



また、ハーツが選ばれる理由のひとつが、その豊富な車のラインアップ。小型セダンからミニバンまで揃うほか、メルセデス・ベンツ、レクサス、ミニクーパー・カブリオレなどワンランク上の車を選ぶことができる「プレステージ・コレクション」もハーツならではのサービスとして人気を集めている。旅のスタイル、利用目的、予算などに応じて車を選ぶことができるため、レンタカー旅行の楽しさがさらにアップするはずだ。

ネバーロストと 通訳サービスで安心ドライブ

オーストラリアは日本と同じ左側通行で右ハンドル。国内と同じ感覚でドライブすることができるうえ、道幅は日本よりも広く、標識もわかりやすい。海外ドライブ初心者でも意外なほど簡単に運転できるのもオーストラリアならではの、それではじめて走る道や街には不安が残るものだ。

ハーツでは、そうした不安を少しでも解消し、スムーズなドライブをサポートするために、オリジナルGPSカーナビゲーション「ネバーロスト」をオーストラリアでも提供している。出発前に日本であらかじめ予約しておくことも可能だ。

使い方はタッチパネル式で簡単。はじめての道でも分かりやすく案内してくれ、特に街中を走る場合には大きな力になってくれる。データベースも充実しているの、レストラン、ホテル、観光スポットなどを検索することができ、住所入力で目的地を検索することも可能。また、最短時間、最短距離など希望に合わせたルート選択ができ、万が一道を間違えても自動的に新たな位置からの再検索もできる。

ハーツでは、日本語アシスタントとして通訳サービス(有料)も提供している。トラブル時のサポートだけでなく、レストランの予約などコンシェルジュ的なサービスを受けることも可能。さまざまな状況で利用価値は高く、ドライバーを強力にバックアップしてくれる。このサービスを利用するには、レンタカーの申し込みとは別途、個人がウェブで申し込む必要がある。

旅行会社向け 販売サポートも充実

車社会のオーストラリア。旅行者でもレンタカーを借りて旅を楽しむ人は多い。ハーツでは、レンタカー販売はコミッション率も高いことか

ら、旅行会社がレンタカー利用者を出発前に取り込むことができれば、収益を上げることができるかとアピールしている。

ハーツが便利でおくと勧めているのが、保険や税金がすべて含まれた「おまかせ!オーストラリアクーポン」。現地での借り出し時に保険などの手続きが必要ないため、英語でのやりとりが最小限に抑えられる。ビギナーだけでなくリピーターにも手続きがスムーズで安心と好評だ。

有料道路通行パス 「Roam Express Rental e-Pass」登録のお勧め

ハーツではシドニー、メルボルン、ブリスベンでのレンタカー利用者に有料道路通行パス「Roam Express Rental e-Pass」の登録を勧めている。登録すると、このパスだけでシドニーの有料道路およびメルボルンとブリスベン

ニッポン人にやさしい 海外レンタカー、あります。

英語が苦手。

ハーツなら、日本でオンラインチェックインできるから現地での手続きが簡単&スピーディ。



不安より安心が好き。

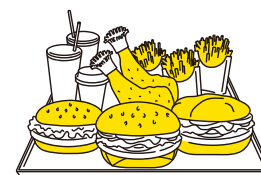
ハーツなら日本語音声カーナビ「NeverLost[®]」で、道に迷う心配なし! さらに、緊急トラブルに備えて24時間日本語サポートOK。

*オプション(有料)です。



おトクには目がない。

ハーツなら、税金、保険、ガソリンまでセットにした包括型プランで、よりリーズナブルに借りられる!



車ならなんでもいい、 というわけではない。

ハーツなら、コンパクトカーからスポーツカーまで車種充実! 乗りたい車、乗り慣れた車を選べる!



*地域によりサービスが異なる場合があります。

行き届いたサービスと安心を。
お客さまにおすすめしたい海外レンタカーといえばハーツです。

<http://www.hertz.com>
0120-489882 9:00~18:00/土日祝祭日除く

特設サイト「海外ドライブ・パーフェクトガイド」がオープンしました。 URL ▶ <http://info.hertz-car.co.jp>

Hertz



Australia

Self-driving
セルフドライブ

「上質な旅」を叶えてくれるドライブ旅行

自由自在に、好きな場所へアクセス!

自由自在に、好きな場所へアクセスできるのがドライブ旅行の魅力。日本と同じ左側通行のオーストラリアは、気軽にレンタカーを借りてドライブを楽しむには絶好のデスティネーションだ。ここではオーストラリアの「上質な旅」を叶えてくれるドライブコースを2つ紹介したい。

Course 1 Queensland & New South Wales ゴールドコーストとパイロンベイ 目安▶2~3日間

世界遺産のパワースポット、 マウントウォーニングでリラックス

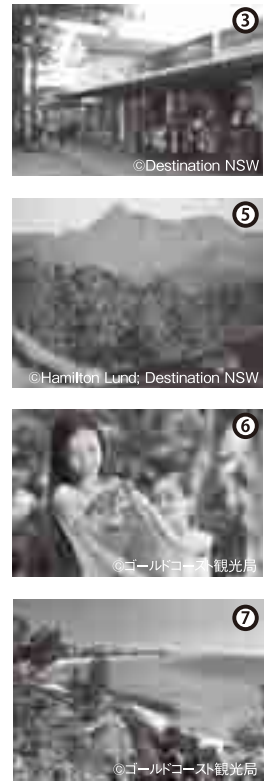


ゴールドコースト空港でレンタカーを借りる

日本から直行便が飛ぶクィーンズランド州のゴールドコーストから南へ向かい、ニュー・サウス・ウェールズ州のパイロンベイへ。ここはオーストラリア大陸最東端。近年はスタイリッシュなリゾート地として、人気を集めている。パイロンベイからは、パワースポットとして知られる注目の世界遺産、内陸のマウントウォーニングを目指す。ゴールドコーストでは、動物たちとの触れ合いなど、ここだけの体験が待っている。オーストラリアの魅力が詰まった「上質な旅」コースだ。



- ① ツィードヘッズ
州境の町。入り江に生息するマッドクラブを獲るクルーズ船が人気。
- ② トロピカル・フルーツ・ワールド
この地が原産のマカダミアナッツをはじめ、世界中の果物が楽しめるテーマパーク。
- ③ バイロンベイ
サーフィンのメッカとしても知られ、古着などを売るショップ、お洒落なレストランやカフェが建ち並ぶ。スタイリッシュなブティックリゾートでの滞在もおすすめ。
- ④ バンガロー
お洒落なショップが点在。毎週土曜日にはファーマーズ・マーケットが開かれる。
- ⑤ マウントウォーニング
エアーズ・ロックと並ぶ先住民アボリジニにとってのパワースポット。アボリジニの呼び名「ワランピン」は、日本語で「夢をつかまえる」という意味。一体に広がるのは、かつての巨大噴火でできたカルデラ。庭で採れたオーガニック食材を使ったレストランにも足を運びたい。
- ⑥ カランピン
コアラを抱っこして記念写真を撮れるのはクィーンズランド州だけ。貴重な体験は、カランピン・ワイルドドライブ・サンクチュアリーで。
- ⑦ バーレーヘッズ
ビーチからサーファーズパラダイスを望む風景は格別。美しいビーチの風景に、思わずカメラのシャッターを切りたくなるはず。
- ⑧ サーファーズパラダイス
ゴールドコーストの中心地。新しいホテルが加わり、ますます魅力的なリゾートに。整備されたビーチ沿いは、より開放的で、明るい印象に生まれ変わった。



詳しくは
クィーンズランド州政府観光局 <http://www.queensland.jp/>
ニュー・サウス・ウェールズ州政府観光局 <http://jp.sydney.com/>
ゴールドコースト観光局 <http://www.VisitGoldCoast.jp>

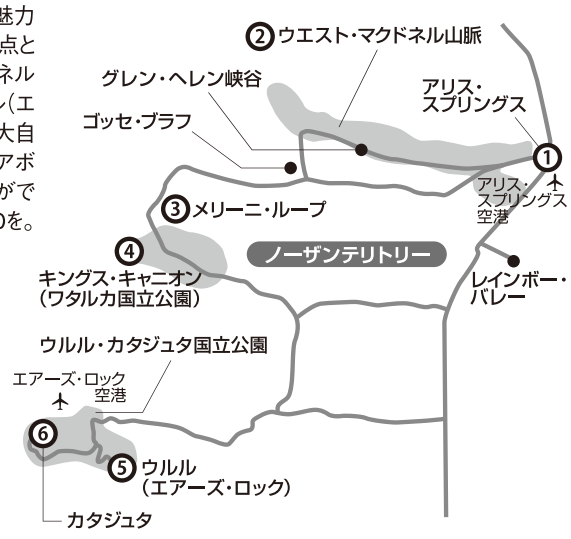
Course 2 Northern Territory エアーズ・ロックとアリス・スプリングス 目安▶3~5日間

アウトバックの魅力全開! ワイルドな4WDドライブを楽しむ

オーストラリアの真ん中「レッド・センター」の魅力が詰まった通称「レッド・センター・ウェイ」。拠点となるアリス・スプリングスから、ウエスト・マクドネル山脈とキングス・キャニオンを経由し、ウルル(エアーズ・ロック)へ。オーストラリアの雄大な大自然に思わず圧倒されるだろう。また先住民アボリジニの豊かな文化の魅力にも触れることができる。なお、オフロードを通るため、車は4WDを。ガソリン補給も充分にしておきたい。



レッド・センターを4WDで爽快ドライブ!



- ① アリス・スプリングス
オーストラリア各地からフライトが飛ぶレッド・センターの中心。あらかじめ観光案内所で、メリーニ・ループの通行許可書(有料)を取得しておく。
- ② ウェスト・マクドネル山脈
鮮やかな色の砂漠、切り立つ渓谷と険しい断崖が織りなすドラマティックな風景が続く。給油施設があるグレン・ヘレン峡谷を拠点に。
- ③ メリーニ・ループ
途中にあるトノララ自然保護区のゴッセ・ブラフには、1億3000万年前の隕石の衝突によってできた巨大なクレーターが広がる。周辺はアボリジニにとって神聖な場所として知られる。
- ④ キングス・キャニオン(ワタルカ国立公園)
オフロードのメリーニ・ループの先に待っているのは、深さ270メートルにもおよぶ断崖絶壁のキングス・キャニオン。赤い岩肌が印象的で、周辺にはさまざまな植物や野生動物を観察できるワイルドなウォーキング・コースが。宿泊施設や給油ポイントも揃う。
- ⑤ ウルル(エアーズ・ロック)
息を呑む絶景。ウルルでの楽しみ方はいろいろ。ラクダに乗ってサンライズを楽しんだり、満天の星空の下でディナーを味わったり。オーストラリアでしか体験できない上質な旅の魅力がここにある。
- ⑥ カタジュタ
ドーム状の岩で有名なカタジュタ(オルガ)。夕暮れの風景を是非この目で。巨大な砂岩の岩石群で有名なレインボー・バレーを経由して、アリス・スプリングスへ戻ることも可能だ。



詳しくは
ノーザンテリトリー政府観光局 <http://ja.travelnt.com>

大切なお客様にお好みのドライブコースを紹介してみてもいかがですか?

エイビスレンタカー

予約センター: 0120-31-1911 www.avis-japan.com





Australia

QANTAS
カンタス航空

充実の国内線ネットワーク

ワンランク上のプレミアムエコノミーで上質な旅を



東京(成田)ーシドニー線を運航し、オーストラリアの「プレミアム・エアライン」として、充実した国内線ネットワークを提供するカンタス航空。同社の自慢のプロダクトのひとつがプレミアムエコノミー。エコノミークラスよりワンランク上のサービスで「オーストラリアの上質な旅」に最適、旅の満足度もきっと高まるはずだ。



シドニー経由でオーストラリア各地へ ゴールドコーストとホバートへも簡単アクセス

オーストラリア最大の国内線ネットワークを誇るカンタス航空。同社を利用すれば、シドニー経由で、オーストラリア各地へ簡単にアクセスすることができる。先日は新たにシドニーーゴールドコースト線の運航がスタート。またシドニーーホバート線のスケジュールが変わり、ゴールドコーストとホバートへも、東京(成田)からシドニー経由でスムーズに乗り継ぎできるようになった。

「プレミアム・エアライン」のカンタス航空は、国内線でも機内食や飲み物はもちろん、機内エンターテインメント(一部機材)も無料。機内で快適に過ごすことができる。また手荷物代金は、あらかじめ運賃に含まれているので、面倒なく安心だ(重量超過および個数超過の際は、別途追加料金が発生)。



追加手荷物料金は
WEBの事前支払いが便利でお得!

あらかじめ手荷物が多い場合、追加の手荷物料金は、カンタス航空のホームページ「qantas.com」での事前支払いが便利。空港カウンターで支払う料金と比べ、安く設定されているので、お得に利用できる。

スケジュール

東京(成田)→シドニー				シドニー→東京(成田)			
便名	運航曜日	出発	到着	便名	運航曜日	出発	到着
QF22	月火水木金土日	19:50	07:25+1*	QF21	月火水木金土日	22:20	06:10+1*

シドニー→ゴールドコースト				ゴールドコースト→シドニー			
便名	運航曜日	出発	到着	便名	運航曜日	出発	到着
QF860	月火水木金	7:10	7:35	QF861	月火水木金	8:15	10:35
QF860	土日	9:00	9:25	QF861	土日	10:05	12:25
QF862	月火水木金	11:45	12:10	QF863	月火水木金	12:50	15:10
QF862	土日	12:00	12:25	QF863	土日	13:05	15:25
QF864	月火水木金土日	16:35	17:00	QF865	月火水木金土日	17:40	20:00

シドニー→ホバート				ホバート→シドニー			
便名	運航曜日	出発	到着	便名	運航曜日	出発	到着
QF1019	月火水木金土日	9:25	11:15	QF1020	月火水木金土日	11:55	13:45

2012年12月1日現在、時間はすべて現地時間 *1翌日着
上記フライトの発着時刻は、2013年3月30日出発までのものです。スケジュールは予告なく変更になる場合があります。

Premium Economy プレミアムエコノミー

ゆとりある空間と快適なシート
「世界一のプロダクト」のお墨付き!



エコノミークラスと比べ快適なシートで、ゆとりある空間を提供するカンタス航空

のプレミアムエコノミー。そのクオリティーの高さで、2010年英スカイトラック社「ワールド・エアライン・アワード」のワールド・ベスト・プレミアムエコノミークラス賞とワールド・ベスト・プレミアムエコノミー・シート賞を同時受賞したまさに「世界一のプロダクト」だ。

人間工学に基づいて設計された座り心地の良いシートは、リクライニング幅9インチ(22.5センチ)、シート間隔40インチ(101.5センチ)、シート幅19.5インチ(49.5センチ)。世界的にも有名なオーストラリア人商業デザイナーのマーク・ニューソン氏がデザインを手がけた。ひじ掛けスペースやフットレスト、ヘッドサポート機能も、エコノミークラスよりもひと回り大きいゆったり仕様となっている。

他社にはないサービスが充実 優先チェックイン、オリジナル機内食も

また、カンタス航空のプレミアムエコノミーの大きな特徴は、他社にはないプレミアムエコノミーだけのサービスが充実している点。例えば、空港施設に余裕があれば、優先チェックインや優先搭乗を行うほか、機内では同クラス専任の客室乗務員がサービスにあたる。ジャケットやコートの預かりサービスは、ビジネスクラスと同じサービスだ。



機内食でも、エコノミークラスと同じ機内食を提供するエアラインが多い中、同社はプレミアムエコノミー専用の機内食を用意。メニューはオーストラリアの人気シェフ、ニール・ベリー氏が監修。もちろんオ



ーストラリア産のプレミアムワインも取り揃える。またビジネスクラス同様、離陸前にスパークリングワインを含むウェルカムドリンクのサービスもある。

さらにアメニティーにもこだわりを見せる。ソックスやアイマスク、歯磨きセットが入ったアメニティーキット、肌触りの良いブランケットや大きな枕などを機内に用意。アダプタ不要のAC電源がシートに装備されているので、ラップトップやiPodの充電もできる。

また、好きなきに好きにだけ楽しめる、オンデマンド方式のエンターテインメントシステムを搭載。ひじ掛け部分に収納されている8.4インチ(21.3センチ)サイズのタッチパネル式モニターと、ノイズ除去機能付きヘッドフォンで、映画や音楽などさまざまなコンテンツを楽しめる。コンテンツは、映画をはじめ音楽番組、CD音源やインタラクティブゲームなど、そのラインナップは幅広い。

プレミアムエコノミー同様、マーク・ニューソン氏がデザインした「スカイベッド」は、快適な休息と睡眠をサポート。2013年1月28日(予定)からは、新たにマットレスと羽毛布団を用意、機内でよりぐっすり眠りにつづけることができるだろう。



また、ニール・ベリー氏監修の機内食や豊富なワインセレクション、オーストラリア人デザイナー、ピーター・モリセー氏デザインのパジャマなど、随所に「オーストラリアらしさ」を感じさせる。空港では、出発前の時間をゆったりと過ごせる空港ラウンジが利用できるほか、専用チェックインカウンターや優先搭乗、手荷物の優先受け取りなど、ビジネスクラスならではのサービスが充実している。



Business Class ビジネスクラス

スタイリッシュな空間で
快適なサービス
眠りを追求した新サービスも

プレミアムエコノミーより、さらにワンランク上のプロダクトがビジネスクラス。「オーストラリアらしさ」にこだわったスタイリッシュな空間で、快適なサービスを提供する。



【プレミアム・エコノミークラス】
成田ーシドニー往復
 対象期間：2013年1月1日から1月31日出発

197,000円*

*上記運賃のほかに、空港施設使用料、燃油特別付加運賃、諸税がかかります。

ご予約は、qantas.com、カンタス航空、または旅行代理店へ。



*●表示の価格はqantas.comにてお支払いいただく場合のものです。●カンタス航空予約部にてお電話でご予約の場合は、別途予約手数料3,000円を申し受けます。●旅行会社にてご予約の場合は、旅行会社の定める取扱手数料がかかります。●表示の運賃は2012年11月1日現在のカンタス航空運航便をご利用のプレミアムエコノミー往復運賃です。上記運賃は2013年1月1日から1月31日出発のもので、売り切れとなり次第販売を終了いたします。●2才から11才までのお子様は大人運賃の75%、2才未満でお座席を使用されない幼児は大人運賃の10%、2才未満の幼児でお座席を使用される場合は大人運賃の75%が適用されます。●表示の価格には、燃油特別付加運賃、空港使用料、出国税、諸手数料は含まれません。●最長滞在期間は12ヶ月です。●ご予約の日付変更には10,000円の変更料のほか、取扱手数料がかかります。●発券後の取り消し・払い戻しは、ご出発前限り、20,000円の取消料にて承ります。●ご利用いただけるお座席には限りがあります。●その他諸条件が適用されます。